

# テキストメッセージに対する感情解釈とその確信度

## —メッセージの表現と性差の影響—

加藤 由樹<sup>1,2</sup> 加藤 尚吾<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup> 教育テスト研究センター <sup>2</sup> 相模女子大学 <sup>3</sup> 東京女子大学

ネット上のテキストコミュニケーションにおける送受信者間の良好な感情伝達を探る研究を継続的に行っている。これまでは実験参加者をペアにして実際にやりとりを行ってもらい、そこでデータを収集する実験を実施してきたが、本研究では、実験者がメッセージをあらかじめ準備し、実験参加者にはメッセージの読み手としてそれらを評価してもらう実験を行った。その理由は、正確な感情伝達が行われるメッセージとはどのようなものか、同じメッセージでも読み手の属性によって正確さに影響があるか、等を探索的に検討するためである。

実験では、a)メッセージの書き手がそれを書いたときに実際に生じていた感情のデータおよび b)書き手がそのメッセージで相手に伝えたい自身の感情のデータと紐付いているメッセージを 18 通準備した。これら 18 通のメッセージは、内容の異なる 6 種類で、それぞれ丁寧な表現、くだけた表現、絵文字・顔文字を含むくだけた表現の 3 つから構成された。これら 18 通を大学生 57 名に提示し、各メッセージから書き手の感情に対する解釈を求めた。また、その解釈の正確さの確信度についても回答を求めた。この実験をオンライン上で行った。

その結果、読み手は書き手の実際の感情よりも伝えたい感情に近い解釈をすることがわかった。また、絵文字などがなくくだけた表現で、他の表現よりも感情解釈の正確さが低くなる傾向が見られたが、実証できたとまでは言えず、仮説としてさらなる実証が求められる。確信度については、確信度が高いほど正確な解釈をするといった関係性は見られず、読み手の確信度は当てにならないことがわかった。更に、確信度に関する性差については、女性は男性よりも確信度が低い傾向がある一方で、正確さは女性の方が男性よりも高いということがわかった。

**キーワード：**コミュニケーション，情報教育，テキストメッセージ，感情伝達

### 謝辞

実験にあたり教育テスト研究センターの多大な助成を得ました。深く感謝致します。